

# 令和6年度事業報告書

公益財団法人 日本美術院

## I 事業の状況

### 1. 美術に関する調査研究、管理保存及び活用して広く一般公衆の用に供する事業

#### (1) 美術の研究及び調査事業

令和6年度は、同人による日本画の研究発表として第79回春の院展に34名及び再興第109回院展に33名の作品を展示した。

#### (2) 研究所並びに資料等の管理保存及び活用、並びに公開と美術に関する図書の刊行事業

① 令和6年度は、再興第109回院展、第80回春の院展の表紙絵の寄附を受け入れた。

② 蔵書目録については、令和6年度の追加図書の基本データの入力を終了した。

③ 画像データの作成 再興第109回院展277点、第79回春の院展331点

④ 画像データの貸出 162件(380点)

#### ⑤ 所蔵資料の公開及び貸出

◇ 令和6年4月13日(土)～6月30日(日) 文京区立森鷗外記念館

岡倉天心「雪泥痕」

◇ 令和6年4月24日(水)～5月5日(日) 秋田魁新報社

第79回春の院展秋田展特別展示「春の院展全作品集表紙絵展」

福王寺法林、伊藤彰耳、田淵俊夫、那波多目功一、松村公嗣、大矢紀、倉島重友各同人の計7点

◇ 著作権預り故菊川多賀同人、故菊川三織子同人の著作権使用許諾依頼

○ 茨城県近代美術館

所蔵作品菊川三織子《花影》、《静韻》の作品写真を印刷物、ホームページ上の所蔵作品画像検索システム等で無償で掲載

○ 北海道立近代美術館 「揺さぶる絵―変貌する日本画のイメージ」展

所蔵作品菊川多賀《一つの記録》、《無量華 I》の出品、広報印刷物や図録への掲載

#### ⑥ 図書の寄贈

第79回春の院展及び再興第109回院展全作品集を全国の日本画に関係する国公立美術館・大学図書館(103か所)に寄贈した。

### (3) 美術に関する研究会、講演会等の開催事業

① 研究会参加者の作品に対する同人の批評・指導を行ったが、そのうち本院を会場として開催したものは、次のとおりである。

令和6年： 5月31日(金)17名、 6月 2日(日)28名、 6月 9日(日)12名、 6月11日(火) 5名  
6月22日(土)47名、 6月23日(日)21名、 6月25日(火)15名、 7月14日(日)29名  
7月30日(火)12名、 8月 2日(金)10名、 8月 3日(土)20名、 8月 4日(日) 9名  
8月10日(日)40名、10月13日(日)21名、11月29日(金)10名

令和7年： 1月 8日(水)26名、 1月12日(日)31名、 1月23日(木)15名、 1月25日(土)43名  
1月26日(日)21名、 2月16日(日)29名、 2月22日(土)40名、2月23日(日)17名  
3月 3日(月)14名、 3月 4日(火)13名、

今年度合計(25回：545名) 前年度(22回：397名)

#### ② 巡回展における講演会及び講評会等

○ 再興第108回福井展： 令和6年 6月23日 蛤の貝がらに描こう！ 12名

○ 第79回春の院展山形展： 令和6年 8月24日 貝合わせを作ってみよう！ 13名

○ 再興第109回東京展： 令和6年 9月14日 公開講座 25名

○ 再興第109回東京展： 令和6年 9月15日 貝合わせを作ろう。 30名

○ 名古屋体験講座： 令和6年11月26日 岩絵具にふれる！今とつなぐ 25名

○ 名古屋体験講座： 令和6年12月 2日 墨にふれる！今とつなぐ 25名

○熊本講評会 : 令和7年 1月29日 48名(受講者21名、聴講者27名)  
今年度合計(7回 : 178名) 前年度(3回 : 100名)

③地域連携教育プログラム

【計12件】

|             |                                       |                  |
|-------------|---------------------------------------|------------------|
| ◇令和6年 8月24日 | 「音楽を抽象表現しよう!」NPO法人motif               | (参加者8名)「絵画指導」    |
| ◇令和6年 9月 3日 | 「日本画ってなあに?音楽をきいて岩絵の具で描いてみよう」清須市立清州小学校 | (参加者24名)「絵画指導」   |
| ◇令和6年 9月18日 | 「音楽を抽象表現しよう!」弥富市立弥富北中学校               | (参加者 150名)「絵画指導」 |
| ◇令和6年10月 1日 | 台東区学びのキャンパスプランニング「鳥獣戯画の動きを盗め」         | (参加者30名)「絵画指導」   |
| ◇令和6年11月18日 | 台東区学びのキャンパスプランニング「鳥獣戯画の動きを盗め」         | (参加者110名)「絵画指導」  |
| ◇令和6年11月22日 | 「日本画ワークショップ」明治学園中学校                   | (参加者133名)「絵画指導」  |
| ◇令和6年11月29日 | 「出前事業」聖ヨゼフ学園小学校                       | (参加者48名)「絵画指導」   |
| ◇令和6年12月 3日 | 「日本画を描こう!」瀬戸内市もかけひろば(子育て支援団体)         | (参加者21名)「絵画指導」   |
| ◇令和6年12月23日 | 「日本画ワークショップ」福岡県立戸畑高等学校                | (参加者24名)「絵画指導」   |
| ◇令和7年 1月 9日 | 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市立西阿知小学校         | (参加者66名)「絵画指導」   |
| ◇令和7年 1月10日 | 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市立西阿知小学校         | (参加者66名)「絵画指導」   |
| ◇令和7年 1月14日 | 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市立西阿知小学校         | (参加者68名)「絵画指導」   |

2. 全国に展示する日本画の公募展覧会の開催及び日本美術院に関する作品を国内外へ紹介し、美術の交流を図る事業

(1)第79回春の院展

令和6年3月27日(水)から4月8日(月)まで日本橋三越において開催し、引続き巡回展を名古屋、秋田、札幌、京都、島根、倉敷、松山、仙台、山形、新潟、福岡、栃木の13会場で延139日間開催した。  
総入場者数は81,162名(前回比18,121名減)であった。

詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した作品は、次のとおりである。

|        |                |
|--------|----------------|
| 応募作品点数 | 636点 (前回 657点) |
| 応募人員   | 632名 ( " 652名) |
| 入選作品数  | 297点 ( " 297点) |
| 内 無鑑査  | 12点 ( " 13点)   |
| 初入選    | 36点 ( " 29点)   |
| 同人出品点数 | 34点 ( " 35点)   |
| 出品総数   | 331点 ( " 332点) |

巡回展には、同人作品34点、受賞作品14点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおり。

◇春季展賞(郁夫賞)

該当者なし

◇春季展賞

該当者なし

◇外務大臣賞

『鐘泥棒』

川崎麻央

以上1名

◇奨励賞

『鐘泥棒』

川崎麻央

『深層』

染谷香理

『Cosmo Journey』

吉田侑加

『窓辺の冬』

窪井裕美

『海の樹』

森友紀恵

『日記』

小針あすか

『Perfect Day』

澁澤星

『光(鋸山石切場)』

岩波昭彦

『夜明けの祈り』

下田博子

『星の森』

竹内栄次

『光想』

加来万周

『眠れぬ夜』

鈴木恵麻

『虹彩』

藤井聡子

『寒禽図』

井上厚

授賞式は、3月27日(水)午後3時から日本橋三越本店7階特別食堂「不二の間」において、外務省外務大臣政務官高村正大氏他外務省関係者の臨席を得、田淵理事長より春季展賞及び奨励賞を、外務省外務大臣政務官高村正大氏より外務大臣賞を授与した。

記念レセプションは、同日午後5時30分より日本橋三越本店7階特別食堂「日本橋」において開催した。

第79回春の院展の実績は次のとおりであり、無事終了した。

| 区 分  | 会 期                         | 開館日数  | 出品点数    | 入場者総数    | 1日平均入場者数 | 会 場         |
|------|-----------------------------|-------|---------|----------|----------|-------------|
| 東京展  | 令和6年 3月27日(水)～ 4月 8日(月)     | 13 日  | 332 点   | 14,994 名 | 1,153 名  | 三越日本橋本店     |
| 名古屋展 | " 4月13日(土)～ 4月21日(日)        | 9 日   | 119 点   | 14,873 名 | 1,653 名  | 名古屋松坂屋美術館   |
| 秋田展  | " 4月24日(水)～ 5月5日(日・祝)       | 12 日  | 122 点   | 3,915 名  | 326 名    | 秋田県総合生活文化会館 |
| 札幌展  | " 5月 8日(水)～ 5月13日(月)        | 6 日   | 134 点   | 2,306 名  | 384 名    | 丸井今井札幌本店    |
| 京都展  | " 5月22日(水)～ 5月27日(月)        | 6 日   | 122 点   | 7,095 名  | 1,183 名  | 高島屋京都店      |
| 島根展  | " 6月15日(土)～ 6月30日(日)        | 16 日  | 140 点   | 20,846 名 | 1,303 名  | 足立美術館       |
| 倉敷展  | " 7月 3日(水)～ 7月 7日(日)        | 5 日   | 100 点   | 1,431 名  | 286 名    | 倉敷市立美術館     |
| 松山展  | " 7月17日(水)～ 7月28日(日)        | 12 日  | 78 点    | 1,666 名  | 139 名    | いよてつ高島屋     |
| 仙台展  | " 8月 1日(木)～ 8月 6日(火)        | 6 日   | 115 点   | 2,628 名  | 438 名    | 藤崎本館        |
| 山形展  | " 8月23日(金)～ 9月 1日(日)        | 10 日  | 130 点   | 1,198 名  | 120 名    | 天童市美術館      |
| 新潟展  | " 9月 4日(水)～ 9月10日(火)        | 7 日   | 130 点   | 3,495 名  | 499 名    | 新潟伊勢丹       |
| 福岡展  | " 9月18日(水)～ 9月23日(月・振)      | 6 日   | 100 点   | 1,203 名  | 201 名    | 福岡三越        |
| 栃木展  | " 10月19日(土)～11月24日(日)       | 31 日  | 90 点    | 5,522 名  | 178 名    | さくら市ミュージアム  |
| 計    |                             | 139 日 | 延1,712点 | 81,172 名 | 584 名    | 13 会場       |
| 前回計  | 令和5年3月21日(火・祝)～令和6年1月28日(日) | 184 日 | 延2,267点 | 99,283 名 | 540 名    | 15 会場       |

(2)再興第108回日本美術院展覧会(院展)

令和5年9月1日(金)から開催した再興第108回院展は、令和6年1月23日(火)開催の広島展までの詳細について、令和5年度事業報告書に報告済みであるが、残り3会場であった横浜展、島根(西)展、福井展については本年度となるためここに記載する。

| 区 分    | 会 期                   | 開館日数 | 出品点数 | 入場者総数   | 1日平均入場者数 | 会 場     |
|--------|-----------------------|------|------|---------|----------|---------|
| 横 浜 展  | 令和5年3月24日(金)～4月16日(日) | 23 日 | 85 点 | 7,559 名 | 329 名    | そごう美術館  |
| 島根(西)展 | " 5月27日(土)～6月18日(日)   | 23 日 | 65 点 | 3,902 名 | 170 名    | 今井美術館   |
| 福 井 展  | " 6月23日(金)～7月17日(月・祝) | 17 日 | 61 点 | 4,438 名 | 261 名    | 福井県立美術館 |

(3)再興第109回日本美術院展覧会(院展)

令和6年9月1日(日)から9月16日(月・祝)まで16日間、東京都美術館において開催し、引続き巡回展を大阪、島根(東)、名古屋、金沢、岡山、京都の順に7会場で延87日間、入場者総数99,097名を数えた。なお、広島、北九州、島根(西)、茨城五浦展を残している。詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した点数は、次のとおりである。

応募作品点数 400点 (前回 402点)  
 応募人員 399名 ( " 402名)  
 入選作品数 243点 ( " 257点)  
 内 無鑑査 11点 ( " 11点)  
 初入選 24点 ( " 25点)  
 同人出品点数 33点 ( " 33点)  
 出品総数 276点 ( " 290点)

巡回展には、同人作品33点、受賞作品15点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおりである。

◇内閣総理大臣賞 『博物学』 同人 前 田 力  
 ◇文部科学大臣賞 『神渡し』 同人 山 田 伸  
 ◇東京都知事賞 『井の頭(11)樹下生生』 樋 田 礼 子  
 ◇日本美術院賞(大観賞)

『井の頭(11)樹下生生』 樋 田 礼 子  
 『算』 川 崎 麻 央 以上2名

◇奨 励 賞

『海へ』 谷 善 徳 『ねがい星』 坂 根 輝 美  
 『群泳』 松 岡 歩 『garden』 藤 原 まどか  
 『Philosophy』 澁 澤 青 『夏葛』 大 河 原 秀 樹  
 『さざめき』 狩 俣 公 介 『休日』 水 見 剛  
 『スプリング』 藤 井 聡 子 『私的飛行計画』 山 口 貴 士  
 『A sight-45-』 山 浦 めぐみ ソワレ』 野 邊 ひろみ  
 『鏝彩』 幸 亮 太 以上13名

授賞式は、9月1日(金)午後3時から上野精養軒において、来賓として文化庁都倉俊一長官をはじめ、奨励賞賞金用にご寄附いただいている(株)三越伊勢丹杉江俊彦会長、(株)高島屋村田善郎社長、(株)大丸松坂屋澤田太郎社長、そごう美術館野口英治副館長他10名を迎え開催した。

授賞は、内閣総理大臣賞及び文部科学大臣賞を都倉俊一文化庁長官より、日本美術院賞・東京都知事賞及び奨励賞を田淵理事長より授与した。

次いで、奨学金及び推挙状の授与を田淵理事長より以下のとおり授与した。

記念レセプションは、9月1日(金)午後5時30分より上野精養軒3階「桜の間」において、本院を代表して田淵理事長が挨拶、(株)高島屋村田善郎社長の乾杯で開宴し懇談した。参加者は約500名となり盛会であった。

◇第43回日本美術院奨学金の授与(50万円) 水 野 淳 子

◇推挙状の授与(令和6年9月1日)

①招待推挙

川崎 麻央(東 京)

②特待推挙

重里 香(千 葉)

藤原 まどか(千 葉)

藤田 和美(岡 山)

佐藤 美和子(千 葉)

狩俣 公介(千 葉)

手中 道子(神奈川)

樋田 礼子(東 京)

廣瀬 良樹(広 島)

以上 8名

③院友推挙

浅野 英明(福 島)

山口 昭(栃 木)

戸倉 英雄(京 都)

中野 貴文(東 京)

林 信吾(千 葉)

安部 温(群 馬)

平片 仁也(東 京)

村松 航汰(広 島)

中村 瞭佑(茨 城)

以上 9名

④研究会員推挙

<令和5年10月20日付>

木田 康仁(三 重)

仁科 幸雄(岡 山)

藤野 七帆(神奈川)

葛 玲瑋(中 国)

黄 世昌(台 湾)

洪 旭韻(中 国)

山本 早恵(石 川)

古山 由樹(千 葉)

菅原 寧々(愛 知)

以上 9名

<令和6年2月16日付>

姚 蘇芸(中 国)

岸田 智(静 岡)

以上 2名

<令和6年6月14日付>

鈴木 貞雄(埼 玉)

西村ちはる(京 都)

荒木 里香(東 京)

竹政 節子(群 馬)

池谷八千代(静 岡)

佐伯 龍進(石 川)

相原 里佳子(三 重)

中田 稀子(千 葉)

中島 真理子(長 崎)

鬼頭 峰子(愛 知)

加藤 寛二(広 島)

酒井 百合子(神奈川)

阿部 靖子(千 葉)

本間 麻子(大 阪)

阿曾 ゆき子(愛 知)

海野 妙子(静 岡)

吉岡 昌子(奈 良)

清水 彩世(東 京)

河部 光恵(広 島)

宮野 里美(愛 知)

肖 思捷(中 国)

以上21名

再興第109回院展各会場の実績は、次のとおりである。ただし、広島、北九州展、島根(西)展、茨城五浦展は令和7年度になる。

| 区 分    | 会 期                        | 開館日数 | 出品点数  | 入場者総数     | 1日平均入場者数 | 会 場       |
|--------|----------------------------|------|-------|-----------|----------|-----------|
| 東京展    | 令和6年 9月 1日(日)～ 9月16日(月)    | 15 日 | 276 点 | 16,390 名  | 1,093 名  | 東京都美術館    |
| 大阪展    | " 9月25日(水)～ 9月30日(月)       | 6 日  | 70 点  | 1,099 名   | 183 名    | 心斎橋パルコ    |
| 島根(東)展 | " 10月 5日(土)～10月27日(日)      | 23 日 | 90 点  | 51,812 名  | 2,253 名  | 足立美術館     |
| 名古屋展   | " 11月22日(金)～12月 2日(月)      | 11 日 | 100 点 | 12,080 名  | 1,098 名  | 名古屋松坂屋美術館 |
| 金沢展    | " 12月13日(金)～12月26日(木)      | 14 日 | 101 点 | 3,616 名   | 258 名    | 京都市京セラ美術館 |
| 岡山展    | 令和7年 1月 2日(木)～ 1月13日(月)    | 12 日 | 60 点  | 11,856 名  | 988 名    | 岡山市・天満屋   |
| 京都展    | " 1月28日(火)～ 2月 2日(日)       | 6 日  | 87 点  | 2,244 名   | 374 名    | 京都市京セラ美術館 |
| 計      |                            | 87 日 | 延784点 | 99,097 名  | 1,139 名  | 7 会場      |
| 前回計    | 令和5年 9月1日(金)～令和6年 1月23日(火) | 73 日 | 延715点 | 100,810 名 | 1,381 名  | 6 会場      |

(4)再興第110回日本美術院展覧会(院展)記念展

令和7年2月19日(水)から3月3日(月)まで日本橋三越本店において開催し、引続き大阪、名古屋の2会場で開催される。記念展では、第一部に再興から昭和33年に没するまで院を支えた横山大観の作品の特別展観と、院の発展に尽力して

きた歴代理事長の作品を展示。第二部では現存する同人の出世作と近作・新作を展示した。  
記念レセプションは、同日午後5時30分より日本橋三越本店7階特別食堂「日本橋」において開催し、本院を代表して田淵俊夫理事長が挨拶、中原裕彦文化庁文化戦略官の来賓挨拶に引き続き、杉江俊彦(株)三越伊勢丹取締役会長の乾杯で開宴した。参加者は400名で盛会であった。  
再興第110回院展(記念展)の東京展の実績は次のとおりである。ただし、大阪、名古屋の2会場は令和7年度になる。

| 区 分 | 会 期                    | 開館日数 | 出品点数 | 入場者総数   | 1日平均入場者数 | 会 場     |
|-----|------------------------|------|------|---------|----------|---------|
| 東京展 | 令和7年 2月19日(水)～ 3月3日(月) | 13 日 | 88 点 | 8,146 名 | 627 名    | 日本橋三越本店 |

(5) 日本画を手元において観て楽しむ文化の普及を図るため、図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの販売。  
令和6年度における図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの売り上げ部数は、次のとおりである。  
第79回春の院展図録 : 2, 229部    バックナンバー春の院展図録 : 64部  
再興第109回院展図録 : 1, 717部    バックナンバー再興院展図録 : 280部  
絵葉書 : 27, 729枚    一筆箋 : 534部    クリアファイル : 1, 411部

3. 日本画の分野における若手芸術家の育成活動に対する助成事業  
第42回日本美術院奨学金は、選考委員会において斉藤博康氏及び三浦愛子氏を選考し理事会で決定した。  
なお、授賞式は令和5年9月1日(金)午後3時より上野精養軒において行われ、田淵理事長から 授与した。

II 処務の概要

1. 役員等に関する事項

令和7年3月31日現在

|            | 氏 名       | 就任年月日    | 手当 | 現 職 等                   | 担 当 職 務       |
|------------|-----------|----------|----|-------------------------|---------------|
| 代表理事       | 田 淵 俊 夫   | H28.6.10 | 無  | 東京芸術大学名誉教授              | 業務の総理<br>法人代表 |
|            |           |          |    | 日本芸術院会員<br>日本美術院同人      |               |
| 〃          | 那波多目功一    | H28.8.21 | 無  | 日本芸術院会員<br>日本美術院同人      | 業務の総理<br>法人代表 |
| 業務執行<br>理事 | 手 塚 雄 二   | H28.8.21 | 無  | 東京芸術大学名誉教授<br>日本美術院同人   | 日常一般業務        |
| 業務執行<br>理事 | 西 田 俊 英   | H28.12.7 | 無  | 日本芸術院会員<br>日本美術院同人      | 日常一般業務        |
| 理事         | 下 田 義 寛   | H26.6.6  | 無  | 倉敷芸術科学大学名誉教授<br>日本美術院同人 |               |
| 〃          | 松 村 公 嗣   | H24.5.25 | 無  | 愛知県立芸術大学名誉教授<br>日本美術院同人 |               |
| 〃          | 大 矢 紀     | R6.614   | 無  | 日本美術院同人                 |               |
| 〃          | ※ 西 崎 誠 司 | R6.614   | 無  | 東京芸術大学教授<br>日本美術院同人     |               |
| 〃          | 村 上 裕 二   | R6.614   | 無  | 日本美術院同人                 |               |
| 監 事        | 倉 島 重 友   | R6.614   | 無  | 広島市立大学名誉教授<br>日本美術院同人   |               |
| 〃          | 天 野 清 一   | R4.6.15  | 有  | 税理士                     |               |
| 評議員        | 佐 藤 道 信   | H23.4.1  | 有  | 東京芸術大学名誉教授              |               |
| 〃          | 古 田 亮     | R4.6.15  | 有  | 東京芸術大学教授                |               |
| 〃          | 野 地 耕一郎   | R5.6.16  | 有  | 泉屋博古館館長                 |               |
| 〃          | 福王寺 一 彦   | H29.4.12 | 無  | 日本芸術院会員<br>日本美術院同人      |               |

※ 氏名は本名を記す。

## 2. 職員に関する事項

令和7年3月31日現在

| 職 名  | 氏 名     | 就 任 年 月 日   | 担 当 事 務    | 備 考           |
|------|---------|-------------|------------|---------------|
| 事務局長 | 山 中 和 則 | 令和 4年 7月 1日 | 事務の総括      | 令和4年10月1日事務局長 |
| 参 与  | 板 屋 一 弘 | 令和 2年 7月 1日 | 事務の総括補助    |               |
| 資料室長 | 和 田 真理子 | 平成12年 1月 1日 | 資料の管理、庶務事務 |               |
| 事業課長 | 吉 村 泉 里 | 平成29年 5月16日 | 院展の業務、経理事務 |               |
| 総務部員 | 鈴 木 亮 太 | 令和 4年 4月 1日 | 経理事務       |               |

## 3. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

#### ① 令和6年5月29日 ○令和6年度 第1回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
1. 令和5年度事業報告書及び決算書について
  2. 第43回日本美術院奨学金受給者の決定について
  3. 理事・監事候補者の推薦について
  4. 再興第109回院展東京展におけるパネルディスカッション・ギャラリートーク及び「サイン会」のついて
  5. 再興第109回院展開催実施表の変更について
  6. 再興第110回院展記念展について
  7. 運営会議の検討事項について
  8. 基本財産(債券)にかかる満期保有目的債権について
  9. 事務局長の任用について
  10. その他

- 報告事項：
1. 梅原幸雄同人の処分期間終了について
  2. 春の院展秋田展特別展示ご協力のお願いについて
  3. 第79回春の院展東京展の終了報告について
  4. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
  5. その他

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名 監事出席2名

#### ② 令和6年6月14日 ○令和6年度 第2回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
1. 理事長、代表理事及び業務執行理事の選出について
  2. 運営会議委員(理事)の選出について
  3. 天心例祭について
  4. その他

- 報告事項：
1. 再興第110回院展記念誌・記念展について
  2. 再興第109回院展東京展実施表(イベント一覧)について

出席等：決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、監事出席2名

#### ③ 令和6年8月16日 ○令和6年度 第3回理事会

開催場所：東京都美術館地下3階審査室

- 議事事項：
1. 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞の選考について
  2. 東京都知事賞、日本美術院賞、奨励賞の選考について
  3. 入選・受賞等による招待、特待、院友の推挙について

報告事項：1. 著作権等に関する講演会について

出席等：決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、監事出席2名

#### ④ 令和6年 9月26日 ○令和6年度 第4回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
1. 再興第110回院展記念(展覧会及び記念誌)への梅原幸雄同人から作品「歌舞の菩薩」の展覧会展示及び記念誌掲載希望の取扱について

出席等：決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、監事出席2名

#### ⑤ 令和6年10月18日 ○令和6年度 第5回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
1. 新同人の推挙について

- 2. 第80回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望について
- 3. その他
- 報告事項 : 1. 再興第110回院展記念(展覧会・記念展)について
- 2. 院展作家永吉秀司「新令和版弘長寺二十五菩薩来迎図展」における後援名義について
- 3. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
- 出席等 : 決議に必要な出席理事の数5名、出席8名、監事出席1名

⑥令和7年2月14日 ○令和6年度 第6回理事会

- 開催場所 : 日本美術院
- 議事事項 : 1. 令和7年度事業計画及び同予算書について
- 2. 令和7年度同人新作品展の開催計画について
- 3. 定時評議員会(令和7年度)の開催について
- 4. 再興第110回院展記念展の開催について
- 5. 再興第110回院展記念誌の刊行について
- 6. 再興第110回院展記念展レセプションの開催について
- 7. 紺綬褒章「公益団体」として認定する団体への申請について
- 8. 諸員名簿の発行について
- 9. その他
- 報告事項 : 1. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
- 2. 平塚市美術館への所蔵作品の貸出について
- 3. 下村観山展の開催について
- 4. 令和7年度よねざわ市民ギャラリー自主事業「山形ゆかりの院展作家たち～再興第110回院展記念展によせて～」について
- 出席等 : 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、監事出席2名

⑦令和7年3月17日 ○令和6年度 第7回理事会

- 開催場所 : 書面審議
- 議事事項 : 1. 令和7年度事業計画及び同予算書について
- ・再興第110回院展記念にかかる経費の令和7年度予算書への追記について
- 出席等 : 決議に必要な出席理事の数9名、出席9名、監事出席2名

⑧令和7年3月26日 ○令和6年度 第8回理事会

- 開催場所 : 日本橋三越本店 特別食堂日本橋松の間
- 議事事項 : 1. 再興院展時における皇室のご来臨を仰ぐ際の日本美術院としての方針について
- 出席等 : 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、監事出席2名

(2)評議員会

①令和6年6月14日 ○令和6年度 第1回評議員会

- 開催場所 : 日本美術院
- 議事事項 : 1. 議事録署名名人の選出について
- 2. 令和5年度事業報告書及び決算書について
- 3. その他
- 出席等 : 決議に必要な出席評議員の数4名、出席7名、監事出席1名、理事出席1名

(3)同人会

①令和6年6月16日 ○令和6年度 第1回同人会

- 開催場所 : 日本美術院
- 議事事項 : 1. 研究会員の詮衡について
- 2. 令和6年度第2回同人新作品展について
- 3. 再興第109回院展について
- 報告事項 : 1. 令和4年度事業報告書及び決算書について
- 2. 第43回日本美術院奨学金受給者について
- 3. 理事・監事の選任について
- 4. 再興第110回院展記念展について
- 5. 地域連携事業報告について
- 6. 春の院展秋田展特別展示報告について
- 7. 第78回春の院展東京展の終了報告について
- 8. その他

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、 出席31名、 欠席6名

②令和6年8月16日 ○令和6年度 第2回同人会

開催場所： 東京都美術館

議事事項： 1. 再興第109回院展について  
2. 8月17日以降の日程について

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、 出席29名、 欠席8名

③令和6年10月20日 ○令和6年度 第3回同人会

開催場所： 日本美術院

議事事項： 1. 新同人の推挙について  
2. 研究会員の詮衡について  
3. 第80回春の院展について  
4. 令和7年1月発行の諸員名簿について  
5. その他

報告事項： 1. 令和6年度第2回同人新作品展の開催について  
2. 第80回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望事項(案)について  
3. 活動報告について  
4. アクセス解析集客(9月1日～9月30日)について  
5. 院展作家永吉秀司「新令和版弘長寺二十五菩薩来迎図展」における後援名について  
6. 再興第108回院展(全体)入場者調査表について  
7. 再興第108回院展(全体)印刷物売上表について  
8. 再興第109回院展(東京展)入場者調査表について  
9. 再興第109回院展(東京展)印刷物売上表について  
10. その他

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、 出席27名、 欠席10名

④令和7年2月14日 ○令和6年度 第4回同人会

開催場所： 日本美術院

議事事項： 1. 第44回奨学金受賞者の推薦について  
2. 研究会員の詮衡について  
3. 第80回春の院展について  
4. 再興第110回院展について  
5. 再興第110回院展記念展の開催について  
6. 再興第110回院展記念誌の発行について  
7. 再興第110回院展記念展レセプションの開催について  
8. 令和7年度同人新作品展の開催について  
9. その他

報告事項： 1. 令和7年度事業計画及び同予算書について  
2. 平塚市美術館への所蔵作品貸出について  
3. 下村観山展の開催について  
4. 令和7年よねざわ市民ギャラリー自主事業について  
5. 第79回春の院展入場者調査表  
6. 第79回春の院展印刷物売上実績表  
7. 令和6年度田淵俊夫理事長文化勲章受章記念贈呈色紙作品について  
8. その他

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、 出席27名、 欠席10名

⑤令和7年3月11日 ○令和6年度 第5回同人会

開催場所： 日本美術院

議事事項： 1. 再興第110回院展募集要項について  
2. 第80回春の院展について

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、 出席32名、 欠席5名

4. 許可、認可及び承認に関する事項 「該当なし」

5. 契約に関する事項 「該当なし」

## 6. 寄附に関する事項

### (1) 寄附金支出

| 寄附の目的       | 寄附の相手方 | 金 額      | 備 考                                                                          |
|-------------|--------|----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 国華清話会に対する助成 | 国華清話会  | 500,000円 | 日本・東洋の古美術研究誌「国華」は明治22年、岡倉天心先生らが創刊したもので、その学術的重要性は世界的な評価を得ている。この「国華」の続刊に資するため。 |

### (2) 寄附金受入

| 寄附の目的                | 寄 附 者      | 金 額         | 備 考                                 |
|----------------------|------------|-------------|-------------------------------------|
| 事業運営経費               | 日本美術院換価委員会 |             | 調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。 |
|                      |            | 31,235,322円 |                                     |
|                      |            |             |                                     |
| 再興第109回院展<br>奨励賞の副賞用 | (株)三越伊勢丹   | 500,000円    | 再興院展奨励賞の副賞として受賞者に交付している。            |
|                      | (株)高島屋     | 500,000円    |                                     |
|                      | (株)大丸松坂屋   | 500,000円    |                                     |
|                      | (株)そごう西武   | 500,000円    |                                     |
|                      | 合 計        | 33,235,322円 |                                     |

## 7. 賛助会員会費に関する事項

|        |          |             |                                     |
|--------|----------|-------------|-------------------------------------|
| 賛助会員会費 | 法人(83社)  | 10,350,000円 | 調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。 |
|        | 個人(721名) | 7,440,000円  |                                     |
|        | 合 計      | 17,790,000円 |                                     |

## 8. 主務官庁指示に関する事項 「該当なし」

## 9. その他の重要事項

### (1) 令和6年度第1回同人新作品展の開催

令和6年5月20日から5月26日の7日間、同人の新作(6号)35点を日本美術院1階大広間において展示した。  
入場者は90名で、前回5年度第2回より29名の減であった。

### (2) 令和6年度第2回同人新作品展の開催

令和6年11月4日から11月10日の7日間、同人の新作(6号)35点を日本美術院1階大広間において展示した。  
入場者は117名で、前回第1回より7名の減であった。

### (3) 天心霊社の例祭

令和6年9月2日午前10時より諏訪神社宮司をお迎えし、例祭を執り行った。諸員多数が参加した。